



いくら聞いても、子供は口を開いてくれ  
ません。岩子は、むしろ戸を引き開け、  
中をのぞいてみました。すると、女の人  
がうすいふとんにくるまってねているで  
はありませんか。まくらもとには、かけ  
た茶わんが一つ。

岩子は、この貧しいようすを見て、

「そうだ。わたしは、このような貧しい  
人を救<sup>すく</sup>わねばならない。この子を助けて  
やらなければならぬのだ。」

叔父から受けた教えが、頭に浮びました。  
岩子の家も、苦しい生活でした。けれ